

精神保健福祉ソーシャルワーク演習

《担当者名》 鈴木 和 suzuki_w@hoku-iryo-u.ac.jp 橋本 菊次郎

【概要】

精神保健福祉援助の知識と技術について実技指導（ロールプレイング等）及び事例を通して実践的に学ぶ。

【学修目標】

- 1．精神障害についての理解を深め、精神障害者に対して共感的に接することができる。
- 2．精神保健福祉援助の実践から専門的な支援の視点や在り方が理解できる。
- 3．精神保健福祉における個別支援のプロセスを理解し、計画策定ができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション (鈴木グループ)	全体で授業概要、ソーシャルワーク演習との関連について理解したのち、グループに分かれて振り返りを行う。	鈴木
	オリエンテーション (橋本グループ)	全体で授業概要、ソーシャルワーク演習との関連について理解したのち、グループに分かれて振り返りを行う。	橋本
2 }	実習体験の振り返り (鈴木グループ)	グループごとにソーシャルワーク実習 で得た自己覚知について深める。 リスニングワークを通じて、対話実践について理解を深める。	鈴木
3	実習体験の振り返り (橋本グループ)	グループごとにソーシャルワーク実習 で得た自己覚知について深める。 リスニングワークを通じて、対話実践について理解を深める。	橋本
4 }	基本的な援助技術 (鈴木グループ)	精神保健福祉分野で関わるクライアントの理解とそれに伴ったインテーク、アセスメントについて理解し、グループごとに分かれてロールプレイを行い体験的に習得する。	鈴木
5	基本的な援助技術 (橋本グループ)	精神保健福祉分野で関わるクライアントの理解とそれに伴ったインテーク、アセスメントについて理解し、グループごとに分かれてロールプレイを行い体験的に習得する。	橋本
6	基本的な援助技術 (鈴木グループ)	精神保健分野で実際に行われている面接をロールプレイを通じて体験的に習得する。 面接中の学生自身の様子について自己覚知できる。	鈴木
	基本的な援助技術 (橋本グループ)	精神保健分野で実際に行われている面接をロールプレイを通じて体験的に習得する。 面接中の学生自身の様子について自己覚知できる。	橋本
7	基本的な援助技術 (鈴木グループ)	アセスメントの実際を学ぶ。グループに分かれて、クライアントの情報からニーズ分析をすることができる。	鈴木
	基本的な援助技術 (橋本グループ)	アセスメントの実際を学ぶ。グループに分かれて、クライアントの情報からニーズ分析をすることができる。	橋本
8	基本的な援助技術 (鈴木グループ)	基本的な援助技術（プランニング、支援の実施）について理解し、示すことができる。	鈴木
	基本的な援助技術 (橋本グループ)	基本的な援助技術（プランニング、支援の実施）について理解し、示すことができる。	橋本
9	基本的な援助技術 (鈴木グループ)	基本的な援助技術（モニタリング、効果測定と支援の評価）について理解し、示すことができる。	鈴木

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	基本的な援助技術 (橋本グループ)	基本的な援助技術(モニタリング、効果測定と支援の評価)について理解し、示すことができる。	橋本
10	基本的な援助技術 (鈴木グループ)	基本的な援助技術(終結とアフターケア)について理解し、示すことができる。	鈴木
	基本的な援助技術 (橋本グループ)	基本的な援助技術(終結とアフターケア)について理解し、示すことができる。	橋本
11 }	基本的な援助技術 総括 (鈴木グループ)	ソーシャルワーク実習で体験したことをグループで演劇的手法を使って振り返る。	油谷 仁美(特別講師) 藤井 雅邦(特別講師) 鈴木
12			
	基本的な援助技術 総括 (橋本グループ)	ソーシャルワーク実習で体験したことをグループで演劇的手法を使って振り返る。	油谷 仁美(特別講師) 藤井 雅邦(特別講師) 橋本
13	課題別精神保健福祉援助事例1 (鈴木グループ)	現場を想定した学習として、社会的排除、就労、教育について理解し、自分の考えを述べるができる。	鈴木
	課題別精神保健福祉援助事例1 (橋本グループ)	現場を想定した学習として、社会的排除、就労、教育について理解し、自分の考えを述べるができる。	橋本
14	課題別精神保健福祉援助事例2 (鈴木グループ)	現場を想定した学習として、ピアサポートについて理解し、自分の考えを述べるができる。	鈴木
	課題別精神保健福祉援助事例2 (橋本グループ)	現場を想定した学習として、ピアサポートについて理解し、自分の考えを述べるができる。	橋本
15	課題別精神保健福祉援助事例3 (鈴木グループ)	精神保健福祉の領域における、自殺について理解し、自分の考えを述べるができる。	鈴木
	課題別精神保健福祉援助事例3 (橋本グループ)	精神保健福祉の領域における、自殺について理解し、自分の考えを述べるができる。	橋本
16	課題別精神保健福祉援助事例4 (鈴木グループ)	精神保健福祉の領域における、虐待について理解し、自分の考えを述べるができる。	鈴木
	課題別精神保健福祉援助事例4 (橋本グループ)	精神保健福祉の領域における、虐待について理解し、自分の考えを述べるができる。	橋本
17	課題別精神保健福祉援助事例5 (鈴木グループ)	現場を想定した学習として、薬物・アルコール依存について理解し、自分の考えを述べるができる。	鈴木
	課題別精神保健福祉援助事例5 (橋本グループ)	現場を想定した学習として、薬物・アルコール依存について理解し、自分の考えを述べるができる。	橋本
18	課題別精神保健福祉援助事例6 (鈴木グループ)	現場を想定した学習として、貧困、低所得、ホームレスなど、地域におけるソーシャルワーク実践について理解し、自分の考えを述べるができる。	鈴木
	課題別精神保健福祉援助事例6 (橋本グループ)	現場を想定した学習として、貧困、低所得、ホームレスなど、地域におけるソーシャルワーク実践について理解し、自分の考えを述べるができる。	橋本
19	課題別精神保健福祉援助事例7 (鈴木グループ)	現場を想定した学習として、動画などから当事者の体験談を聴き、ソーシャルワーク実践に必要な姿勢や技術、態度について学び、自分の考えを述べるができる。	鈴木
	課題別精神保健福祉援助事例7 (橋本グループ)	現場を想定した学習として、動画などから当事者の体験談を聴き、ソーシャルワーク実践に必要な姿勢や技術、態度について学び、自分の考えを述べるができる。	橋本
20 }	課題別精神保健福祉援助事例総括 (鈴木グループ)	現場で実践中の精神保健福祉士の講話を聴き、ケースの展開、グループワークの展開を体験的に学び、実践する。	高田 大志(特別講師) 鈴木
21			
	課題別精神保健福祉援助事例総括 (橋本グループ)	現場で実践中の精神保健福祉士の講話を聴き、ケースの展開、グループワークの展開を体験的に学び、実践する。	高田 大志(特別講師) 橋本

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
22) 23	次年度の実習・演習にむけて (鈴木グループ)	ソーシャルワーク実習の評価票と今期の演習中で習得した学びを振り返り、次年度の実習に向けて取り組む必要のある学習のニーズ、援助技術のスキルアップについて理解する。	鈴木
	次年度の実習・演習にむけて (橋本グループ)	ソーシャルワーク実習の評価票と今期の演習中で習得した学びを振り返り、次年度の実習に向けて取り組む必要のある学習のニーズ、援助技術のスキルアップについて理解する。	橋本

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

授業への主体的参加態度(30%)及び課題レポート(70%)

主体的参加態度については、科目担当教員で協議のうえ評価する。

【教科書】

使用しない。必要に応じて講義資料を配布する。

【参考書】

その都度紹介する。

【備考】

この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「ソーシャルワーク演習(専門)」に該当する。

【学修の準備】

予習は、次回の授業で行う援助技術や事例について講義で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)。

復習は、授業で取り上げた学習内容について体験を振り返り、理解を深めること(2時間)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2: 福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP1: 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

DP3: 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

DP4: 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

DP5: 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

【実務経験】

鈴木和(精神保健福祉士)、橋本菊次郎(精神保健福祉士)

【実務経験を活かした教育内容】

精神保健福祉士、ソーシャルワーカーとしての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な演習を行う。